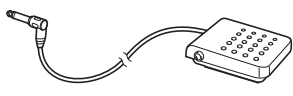


付属品、別売品について

付属品や別売品は、必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

付属品一覧

		
譜面立て	ACアダプター (AD-A12150LW)	電源コード
		リーフ類 - クイックスタートガイド(本書) - カシオ電子楽器保証書 - 安全上のご注意 - アフターサービス窓口について - その他
ペダル (SP-3)	ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプター	

- 欠品、破損、紛失等の場合は、ご購入された販売店にお問い合わせください。(ACアダプターは別売品で購入可能)
- 付属品のデザインと内容は、予告なく変更されることがあります。

別売品のご案内

商品名	品番	商品名	品番	商品名	品番
ヘッドホン	CP-16	イス	CB-5	3本ペダル付き ピアノスタンド	CS-470P
ペダル	SP-3 SP-20 SP-34		CB-7 CB-30	ソフトケース	SC-800P
		スタンド	CS-46P	ACアダプター	AD-A12150LW

- カシオ電子楽器取扱店で購入可能です。
- 別売品については、店頭の製品カタログまたは弊社ウェブサイトにて詳しい情報をご覧になれます。
<https://support.casio.jp/emi/manual/CDP-S300/>



JA

CDP-S300

クイックスタートガイド(保証書別添)

本書は、お読みになったあとも、保証書とともに、大切に保管してください。
別紙の「安全上のご注意」をお読みの上で、正しくお使いください。

本書には、基本的な操作方法がまとめられています。より詳しい情報については、弊社ウェブサイトの「取扱説明書」を参照してください。
<https://support.casio.jp/emi/manual/CDP-S300/>

本機でできること

- ✓いろいろな音色で鍵盤演奏を楽しむ
グランドピアノをはじめ700音色を内蔵しています。
※ 本書「音色を選んで弾く」
- ✓自動伴奏機能
※ 本書「自動演奏をバックに演奏しよう」
- ✓デジタルピアノならではの設定機能
※ 本書「セットアップを登録し再現する（レジストレーション）」、「演奏を録音してみよう（レコーダー）」
- ✓メトロノームを使って練習する
テンポを一定に保つ練習に、メトロノームは効果的です。本機は9拍子以内のメトロノーム音を鳴らせます。
※ 本書「メトロノームを鳴らす」
- ✓外部機器の音を本機で鳴らす
携帯オーディオプレーヤーなどを本機のAUDIO IN端子へ接続して、好きな曲と一緒に演奏できます。
※ 本書「外部機器の音を本機で鳴らす」
- ✓Bluetooth® 無線技術で接続したスマートデバイスの再生音を本機から鳴らす
※ 本書「付属のワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを使う」
- ✓スマートデバイスとつないで広がる機能
スマートデバイスの画面で本機を操作できるほか、さまざまな楽しみ方を提供します。
※ 本書「スマートデバイスとリンクする（APP機能）」
- ✓ほかにも、こんなことができます
 - ・2つ以上の音色を同時に鳴らす（レイヤー、スプリット）
 - ・音色に効果を加える（エフェクト）
 - ・鍵盤の感度を変える（タッチレスピンス）
 - ・鍵盤を左右に分けて2人で弾く（デュエット）
 - ・音高を微調整する（チューニング）
 - ・ミュージックプリセットを使う
 - ・USB メモリーを使用する
 - ・パソコンとつないでMIDIデータ送受信
- ※ 弊社ウェブサイト(上記)の「取扱説明書」を参照
- ✓困ったときは
 - ※ 弊社ウェブサイト(上記)の「取扱説明書」を参照

はじめに本書に記載の「電源の準備」をした上で、本機の電源を入れてから、操作を開始してください。

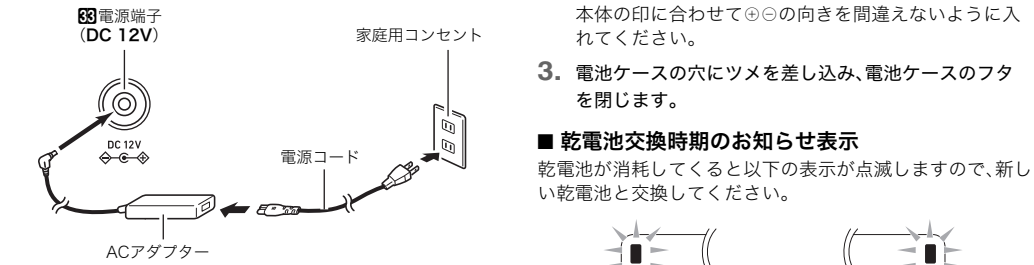
演奏の準備

電源の準備

本機は電源としてACアダプターまたは乾電池をご使用いただけますが、基本的にはACアダプターのご使用をお勧めします。

- ACアダプターを使う**
本機指定のACアダプター（JEITA規格・極性統一形プラグ付き）を使用してください。他のACアダプターを使用すると発煙や故障の原因になることがあります。

ACアダプターの型式：AD-A12150LW
(JEITA Standard plug)
ACアダプターの接続には、付属の電源コードをご使用ください。



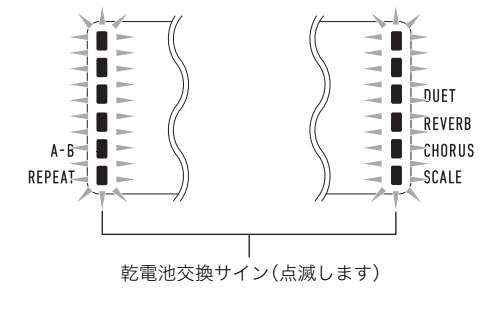
- ※重要**
・本機付属のACアダプター（JEITA規格・極性統一形プラグ付き）は、本機にのみ使用ください。他の機器への接続は絶対に行わないでください。故障の原因となります。
- ・ACアダプターを差したり抜いたりする前に、必ず本機の電源を切ってください。
- ・長時間ご使用になりますとACアダプターが若干熱をもちますが、故障ではありません。

■ 乾電池を使う

- ※重要**
・乾電池を入れる前に、必ず本機の電源を切ってください。
- ・乾電池は市販の乾電池をご使用ください(オキシライド乾電池などのニッケル系一次電池は使用しないでください)。
- ・乾電池を入れるために本機を裏返すときは、次のことにご注意ください。
 - － 本機の下に手を挟まないようご注意ください。けがの原因となります。
 - － 不用意に倒すなどして、本機に衝撃を与えないでください。VOLUMEつまみや鍵盤が破損する原因となります。

- 本機の裏側にある電池ブタをはずします。
- 市販の単3形乾電池、6本を電池ケースに入れます。本体の印に合わせて⊕⊖の向きを間違えないように入れてください。
- 電池ケースの穴にツメを差し込み、電池ケースのフタを閉じます。

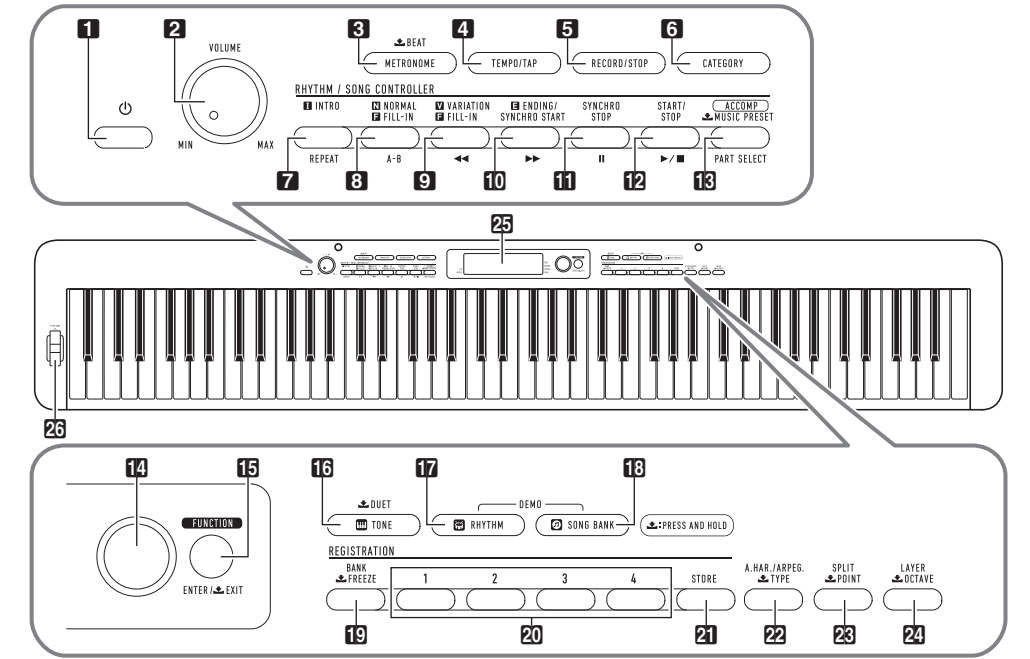
- 乾電池交換時期のお知らせ表示**
乾電池が消耗してくると以下の表示が点滅しますので、新しい乾電池と交換してください。



- ※重要**
・電池が消耗したまま本機の使用を続けると、自動的に電源が切れます。この場合、本機に記録しているデータが破損・消失する恐れがあります。

全体ガイド

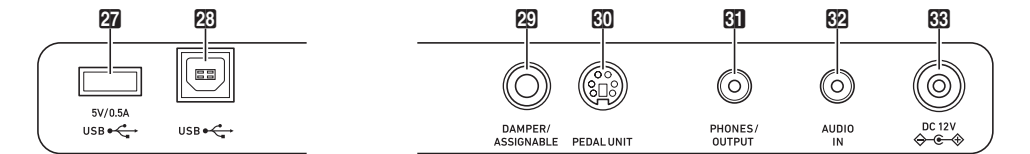
■ フロントパネル



- 製品のボタン名には、というマークが付いているものがあります。マーク付きのボタン名は、そのボタンを長押ししたときの動作を表しています。

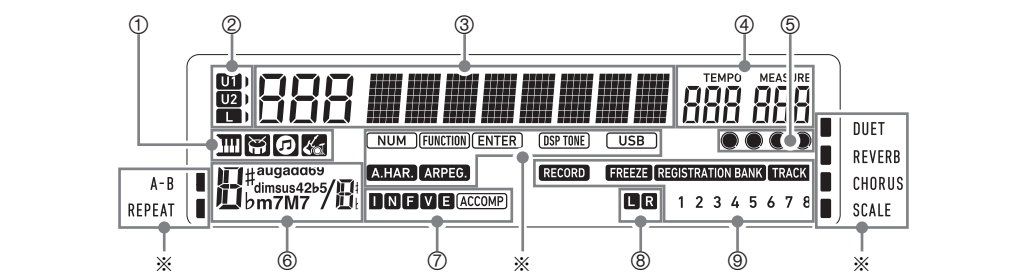
-  (電源) ボタン
-  VOLUMEつまみ
-  METRONOME、 BEATボタン
-  TEMPO/TAPボタン
-  RECORD/STOPボタン
-  CATEGORYボタン
-  INTRO、REPEATボタン
-  NORMAL FILL-IN、A-Bボタン
-  VARIATION FILL-IN、 ボタン
-  ENDING/SYNCHRO START、 ボタン
-  SYNCHRO STOP、 ボタン
-  START/STOP、 ボタン
-  [ACCOMP]伴奏、PART SELECT、 MUSIC PRESETボタン
- ダイヤル

■ 背面端子部



- ユーエスピータイプA
ユーエスピータイプB
- 27 USB Type A端子
28 USB Type B端子
- 29 DAMPER/ASSIGNABLE端子
30 PEDAL UNIT端子
31 PHONES/OUTPUT端子
32 AUDIO IN端子
33 電源端子 (DC 12V)

■ 液晶画面



-  トーンインジケータースイッチ
-  リズムインジケータースイッチ
-  ソングバンクインジケータースイッチ
-  ミュージックプリセットインジケータースイッチ
-  鍵盤パートインジケータースイッチ
-  番号または設定値表示(左側)、名称表示(右側)のインジケータースイッチ

■ 譜面立ての準備



共通の操作

- ※重要**
・本書中の操作手順は、特に断りがなければ、本機の電源を入れた直後の状態から操作を開始することが前提となっています。操作がうまくいかないと感じたときは、いったん本機の電源を切り、電源を入れ直すことをお勧めします。
・何らかの操作の途中で本機の電源を切ると、未保存のデータは消失します。

■ ダイヤル操作について

- ダイヤルは、番号(音色番号など)や数値(テンポ値など)を変更したり、メニューを選んだりするときに使います。現在可能な操作は、液晶画面のNUMインジケータースイッチで知ることができます。



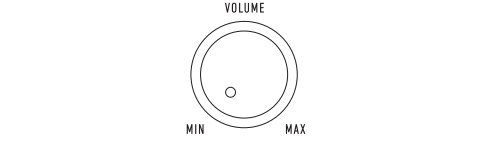
- 数値や番号の変更 (NUMインジケータースイッチ点灯中)**
液晶画面にNUMインジケータースイッチが点灯している場合は、 ダイヤルを使って番号や数値が変更できます。

- ※メモ**
・ダイヤル操作中に設定値が初期値(またはお助めの設定値)になると、NUMインジケータースイッチが瞬点灯し、すぐに点灯状態に戻ります。

- メニューの選択 (NUMインジケータースイッチ点灯中)**
液晶画面に何らかの設定を行うためのメニューが表示されており、NUMインジケータースイッチが点灯している場合は、 ダイヤルを使ってメニュー項目を切り替えることができます。

音量を調整する

-  VOLUMEつまみでスピーカーやヘッドホンからの音量を調整します。



音色を選んで弾く

-  TONEを押します。
-  ダイヤルを使って音色を選びます。

- ※メモ**
・音色の一覧は弊社ウェブサイトの「取扱説明書」(本書冒頭参照)にアクセスの上「内蔵音楽データ一覧」をご覧ください。
- ・拍子は、0～9拍子から選べます。
- ・設定値を0にすると「チェーン」と鳴りません。拍子に聞こえることなく練習したいときに使います。

- 鍵盤を弾いてみましょう。
選んだ楽器の音色が出ます。

デモ演奏を聴く

-  RHYTHMと SONG BANKを同時に押します。
 (ソングバンクインジケータースイッチ)と (リズムインジケータースイッチ)が点滅し、デモ専用曲(1曲)の再生が始まります。終了すると、2曲目以降はソングバンクの曲が連続再生されます。
 - デモ演奏中は、 ダイヤルを使って前後の曲を頭出しできます。
 - デモ演奏は下記手順2を行うまで繰り返されます。
- デモ演奏を終了するには、 >■を押すか、 RHYTHMと SONG BANKを同時に押します。

自動演奏をバックに演奏しよう

自動伴奏機能とは、お好みの伴奏リズムを選び、左手でコード(和音)を押すだけで、選んだリズムにぴったりの伴奏が自動に鳴る機能です。1人でもアンサンブル演奏をお楽しみいただけます。

- ※メモ**
・自動伴奏で鳴るパート(楽器)には、下記の3種類があります。
 - － リズム(打楽器)
 - － ベース(低音楽器)
 - － ハーモニー(さまざまな楽器)

リズムだけを鳴らしたり、すべてのパートを同時に鳴らしたりすることができます。

■ リズムパートだけを鳴らす

リズム(打楽器)は自動伴奏の土台となる重要なパートです。本機には8ビートやワルツなどさまざまな種類のリズムが内蔵されていますので、まずは基本となるリズムパートだけを聴いて、それに合わせて弾いてみましょう。

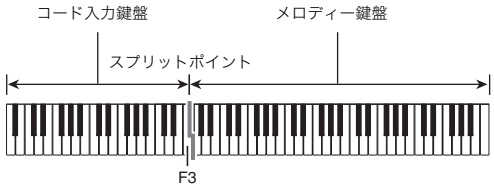
-  RHYTHMを押します。
 (リズムインジケータースイッチ)が点灯し、リズムモードに入ります。
-  ダイヤルを使って好きなリズム番号を選びます。
 - リズムの種類は弊社ウェブサイトの「取扱説明書」(本書冒頭参照)にアクセスの上「内蔵音楽データ一覧」をご覧ください。

- ※メモ**
・この操作によって、メトロノームの拍子設定が、選んだリズムの拍子に自動的に変更されます。メトロノーム機能による拍子設定の範囲外であっても、リズムの拍子がメトロノームに適用されます。
- リズムがスタートします。
- リズムに合わせて弾きましょう。
- もう一度 START/STOPを押すとリズムがストップします。

コードを付けて鳴らしてみよう

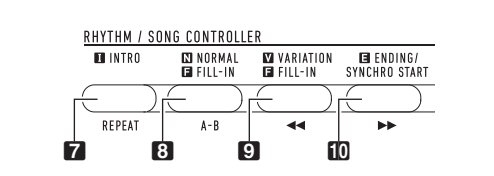
左手でコードを押さえると、選んだリズムにベースやハーモニを加えた伴奏が自動的に演奏されます。1人で演奏してもバンド演奏のように楽しく演奏できます。

- **[ACCOMP]**伴奏を押します。鍵盤でコードを入力できる状態になります。
- **リズム**をスタートさせます。
- **コード入力鍵盤**でコードを押さえます。ベースやハーモニなど、リズムパート以外の楽器も鳴りはじめます。



- **スプリットポイント**を変更して、コード入力鍵盤の範囲を変えることができます。
- 左手でいるるコードを押さえて、右手でメロディーを弾きましょう。
- もう一度**■** **[ACCOMP]**伴奏を押すと、リズムだけの伴奏に戻ります。

自動伴奏に変化をつけて演奏する



- **[INTRO]**を押すと、イントロがスタートします。イントロ演奏の後、ノーマルパターン演奏になります。
- ノーマルパターン演奏中に**■** **[NORMAL FILL-IN]**を押すと、ノーマルパターンのフィリングが演奏されます。
- ノーマルパターン演奏中に**■** **[VARIATION FILL-IN]**を押すと、バリエーションパターンがスタートします。
- バリエーションパターン演奏中に**■** **[VARIATION FILL-IN]**を押すと、バリエーションパターンのフィリングが演奏されます。
- 自動伴奏の演奏中に**■** **[ENDING / SYNCHRO START]**を押すと、エンディングパターンが演奏され、自動的に伴奏が停止します。

※ 弊社ウェブサイトの「取扱説明書」を参照

テンポ(速さ)を変えるには

テンポ値 (1分間あたりの拍数)で調節する方法と、好みのテンポにあわせてボタンを連打する方法(タップ入力)の2種類があります。

■ テンポ値でテンポを調節するには

- **[TEMPO/TAP]**を押します。液晶画面に"Tempo"と表示されます。
- **[DAIヤル]**を使って、テンポ値を調節します。テンポ値は20～255の間で設定できます。
 - **[TEMPO/TAP]**を長押しすると、現在選ばれている曲やリズム、ミュージックプリセットにおすめのテンポに設定されます。
- **[ENTER]**を押して、設定画面から抜けます。
 - テンポ値の調節後に何も操作しなかった場合、数秒で設定画面から抜けます。

■ ボタンを連打してテンポを決めるには (タップ入力)

- 鳴らしたいテンポにあわせて**■** **[TEMPO/TAP]**を2回以上押します。
 - ボタンを押した間隔に応じたテンポになります。
 - まずこの方法でテンポを設定してから、前述の「テンポ値でテンポを調節するには」の操作で微調整をするなど、2種類の方法を組み合わせて使うと便利です。

セットアップを登録し再現する (レジストレーション)

レジストレーション機能を使うと、本機のセットアップ(音色やリズムなどの設定一式)を登録することができま。登録したセットアップは、特定の曲を演奏する際などに、必要に応じて呼び出すことができます。

- **レジストレーション機能**はリズムモードで利用できません。
- レジストレーション機能はソングバンクモード、デモ演奏中、ミュージックプリセットモード、および各種の設定操作中は利用できません。

- **セットアップの保存場所について**

セットアップの登録には、専用の保存場所が使われます。この保存場所は、8個の「バンク」に分かれています。バンク1つあたりの保存場所が4つあるので、合計で32個 (8バンク×4エリア)のセットアップが登録できます。

 - バンクの指定には、**■** **[BANK]**ボタンを使います。
 - エリアの指定には、**■** **[エリア1～エリア4]**ボタンを使います。

■ 登録できる内容

※ 弊社ウェブサイトの「取扱説明書」を参照

- **外部機器への保存について**

レジストレーション機能で登録したセットアップは、バンク単位でUSBメモリーに保存できます。

■ セットアップを登録する

- **[RHYTHM]**を押します。
- 音色やリズム番号などを、登録したい内容に設定します。
- **[BANK]**を押して、登録するバンクを選びます。**■** **[BANK]**を押すごとに、バンク番号が切り替わります。
 - **[BANK]**を押したあとの3秒間は**■** **[DAIヤル]**を使ってバンクを選ぶこともできます。
- **[STORE]**を押したまま、登録したいエリアに応じて**■** **[エリア1～エリア4]**のいずれかを押します。手順2で設定した内容がひとつのセットアップとして登録されます。
 - 新しく登録をする、以前にそのエリアに登録されていた内容は消去されます。

■ 登録したセットアップを呼び出す

- 必要に応じて、**■** **[BANK]**を使ってフリーズ機能のオン／オフを切り替えます。
 - **[BANK]**を長押しするたびに、フリーズ機能のオン／オフが切り替わります。オンのときは、FREEZEインジケーターが点灯します。
- **[BANK]**を押して、呼び出したいバンクを選びます。
- 呼び出したエリアに応じて、**■** **[エリア1～エリア4]**のいずれかを押します。登録されているセットアップ内容が呼び出され、音色やテンポなどが自動的に切り替わります。

- **オクターブシフト**の設定を変えているデータと呼び出した場合、弾いている鍵盤の音が消えることがあります(バダルで延ばしている音は鳴り続けます)。

■ 演奏を録音してみよう (レコーダー)

鍵盤演奏や自動伴奏、その他本機のさまざまな機能を使った演奏を、手軽に録音できます。録音した内容は、ソングバンクの163～168番に保存されます。

- **メモ**
 - 録音できる曲数は、最大6曲です (マルチトラック録音曲×5、パート練習録音曲×1)。
 - 1曲に録音できる音符数は、最大約1,200音符です。

- **外部機器への保存について**

本機に録音したデータは、USBメモリーに保存できます。

- **重要1**
 - 本機の故障、修理などによる録音内容の消去により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■ 演奏を録音・再生する

■ 演奏を録音するには

- **[RHYTHM]**を押します。
- **[RECORD/STOP]**を押します。録音の待機状態になります。
 - 録音待機状態から抜けるには、**■** **[RECORD/STOP]**を数回押して、液晶画面上のRECORDインジケーターを消灯させてください。
- 音色やリズムの番号などを設定します。
- 演奏をはじめます。鍵盤を弾きはじめると、同時に録音をはじまります。
 - 自動伴奏を開始すると、自分の演奏と一緒に自動伴奏も録音することができます。
 - 録音できる残り音符数が100以下になると、RECORDインジケーターが点滅します。残りがなくなると、録音は自動的に終了し、RECORDインジケーターが消灯します。
- 録音を終了するには、**■** **[RECORD/STOP]**を押します。
- **[▶▶]**を押すと録音した演奏が再生されます。
 - **[▶▶]**を押すたびに再生と停止を繰り返します。

- **メモ**
 - 上記操作で録音すると、ソングバンクの164～168番の中で、まだ録音されていない最小の番号が、録音先として自動的に選ばれます。録音先の曲番号を先に指定したい場合は、「録音待機中に録音先の曲番号を変えるには」をご参照ください。

- **重要2**
 - 録音中に本機の電源がオフになると、録音した内容は消去されます。
 - システムの制約上、使用する音色や自動伴奏、リハーブ、コーラスの設定によっては、録音時と再生時で音の鳴り方が変わる場合があります。

※ 弊社ウェブサイトの「取扱説明書」を参照

※ 本機は、高周波電磁界にさらされると、音の鳴り方が変わる場合があります。

保証・アフターサービスについて

■ 保証書をよくお読みください

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■ 保証期間は保証書に記載されています

まず、もう一度、取扱説明書に従って正しく操作していたき、直らないときには次の処置をしてください。

- **保証期間中は**

保証書の規定に従って取扱説明書等に記載の「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

 - 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
 - 保証書に「出張修理」と記載されているものは、取扱説明書等に記載の「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店までご連絡ください。
- **保証期間が過ぎているときは**

取扱説明書等に記載の「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

当商品は「出張修理」「持込修理」のいずれも受け付けております。修理をお急ぎの場合には、事前に「修理に関するお問合せ先」にご相談ください。お客様のご希望に沿った修理方法をご案内させていただきます。

■ あらかじめご了承ください

- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただきます」ことがあります。また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
- 修理のとき、交換した部品を再生、再利用する場合があります。修理受付時に特段のお申し出がない限り、交換した部品は弊社にて引き取らせていただきます。
- 録音機能などのデータ記憶機能付きのモデルでは、修理のとき、故障原因の解析のため、データを確認させていただくことがあります。また、お客様のデータが消える場合がありますので、必要なデータは修理に出す前お客様にてバックアップをお願いいたします。
- 日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内の「修理お申込み先」にご依頼ください。

■ アフターサービスなどについておわかりにならないときは

取扱説明書等に記載の「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 録音した演奏を再生するには

- **[BSONG BANK]**を押します。
- **[DAIヤル]**を使って、曲番号 (163～168番)を選びます。
- **[▶▶]**■を押します。
- 曲の再生を止めるには、**■** **[▶▶]**■を押します。

■ 録音待機中に録音先の曲番号を変えるには

- 録音待機状態で、**■** **[RECORD/STOP]**を長押しします。"Rec Trk"と表示されます。
- **[DAIヤル]**を使って"MITRec X"(Xは1～5のいずれか)を選び、**■** **[ENTER]**を押します。
- **[DAIヤル]**を使って、録音先にした曲番号を表示します。
- **[ENTER]**を押します。
- 設定を終了するには、**■** **[RECORD/STOP]**を押します。

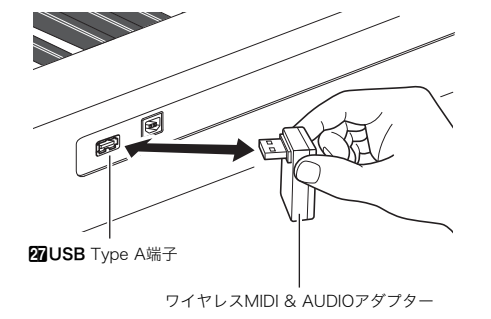
■ 録音待機中に録音先のトラックを変えるには

- 録音待機状態で、**■** **[RECORD/STOP]**を長押しします。"Rec Trk"と表示されます。
- **[ENTER]**を押します。
- **[DAIヤル]**を使って、録音したいトラックを選びます。
- **[ENTER]**を押します。
- 設定を終了するには、**■** **[RECORD/STOP]**を押します。

付属のワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを使う

ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを本機の **■** **[USB Type A]**端子に接続すると、次のことができます。

- Bluetooth接続したスマートデバイスの再生音を本機のスピーカーから鳴らす
- Bluetooth Low Energy接続でMIDI機能を使う
- スマートデバイス用アプリを使う



- **重要1**
 - **ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを取り外すときは、本機の電源を切ってください。**

■ 外部機器と接続する

弊社ウェブサイトにある「取扱説明書」をご参照ください。
<https://support.casio.jp/eml/manual/CDP-S300/>



■ スマートデバイスとリンクする (APP機能)

スマートデバイスと本機を接続すると、アプリで本機を操作(ピアノリモートコントローラー)したり、アプリのさまざまな機能を楽しむことができます。

- 各種操作について詳しくは、アプリの説明書をご覧ください。

弊社ウェブサイトからスマートデバイス用アプリをダウンロードして、お使いのスマートデバイスにインストールしてください。

<https://support.casio.jp/eml/manual/CDP-S300/>



オーディオ機器と接続する

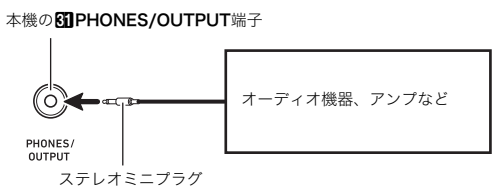
市販のステレオやアンプに接続して大きな音量で鳴らしたり、録音機器に接続して本機での演奏を録音したりできます。また、携帯オーディオプレーヤーなどの音を本機で鳴らしながら、それをバックに演奏して楽しむことができます。

- **本機の音を外部機器で鳴らす**

接続には市販の接続コードが使用できます。

 - 片側がステレオミニプラグ、もう一方は外部機器の入力端子に接続できるものをご用意ください。

- **重要2**
 - 接続するときはすべての外部機器の電源を切ってください。また、電源の音量設定を小さめに絞っておいてください。
 - 接続した後は本機、外部機器の順番で電源を入れてください。
 - 外部機器で鳴らした本機の音が歪んだ音で聴こえる場合は、本機の音量を下げてください。

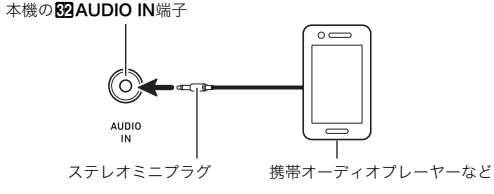


■ 外部機器の音を本機で鳴らす

接続には市販の接続コードが使用できます。

- 片側がステレオミニプラグ、もう一方は外部機器の出力端子に接続できるものをご用意ください。

- **重要3**
 - **外部機器の音は、本機のAPP機能がオンになっていると正しく鳴りません。**
 - 接続するときは本機の電源を切ってください。また、電源のオン/オフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。
 - 接続した後は外部機器、本機の順番で電源を入れてください。
 - 本機で鳴らした外部機器の音が歪んだ音で聴こえる場合は、外部機器の音量を下げてください。



製品仕様	
型式	CDP-S300
鍵盤	88鍵、ピアノ鍵盤
タッチレスポンス機能	3種類、オフ
同時発音数	最大128音
音色機能	
プリセット音色	700音色
その他	レイヤー、スプリット
リハーブ機能	10種類、オフ
コーラス機能	4種類、トーン
メトロノーム機能	
拍子ベル音	オフ、1～9 (拍子)
テンポ	20～255
ソングバンク機能	
デモ専用曲	1曲
内蔵曲	152曲
ユーザー曲	10曲※1
ユーザー録音曲	6曲 (録音機能参照)
自動伴奏機能	
プリセットリズム	200種類
ユーザーリズム	10種類※2
レジストレーション機能	最大32セット (4セット×8バンク)
録音機能	
鍵盤演奏録音	リアルタイム録音、再生
ソングバンク曲にあわせての録音	5曲、6トラック
メモリー容量	1曲 (左手、右手、両手)
	約12,000音符 (1曲あたり)
その他の機能	
トランスポーズ	±1オクターブ (－12 ～ 0 ～ +12半音)
オクターブシフト	Upper1/Upper2/Lower、±2オクターブ
チューニング	A4＝415.5 ～ 465.9Hz (初期値: 440.0Hz)、0.1Hz単位で設定可
音律(スケールチューニング)	17種類
ミュージックプリセット	310種類
ワンタッチプリセット	200種類
オートハーモナイズ	12種類
アルペジオーター	100種類
MIDI機能	16chマルチティンバー受信、GMLレベル1準拠
ピッチベンドホイール	ピッチベンドレンジ：0～24半音
端子	
USB端子	Type A、Type B
ダンパー/アサインابل端子	標準ジャック (サステイン、ソステヌート、ソフト、リズム)
ベダルユニット端子	標準形状 (サステイン、ソステヌート、ソフト)
ヘッドホン/アウトプット端子	ステレオミニジャック
	出力インピーダンス：3Ω、出力電圧：1.3V (RMS) MAX
オーディオ入力端子	ステレオミニジャック
	入力インピーダンス：10kΩ、入力感度：200mV
電源端子	DC12V

電源	2電源方式
電池	単3形アルカリ乾電池6本使用
電池持続時間	約4時間 (アルカリ電池使用時)
家庭用AC100V電源	ACアダプター AD-A12150LW使用
オートパワーオフ機能	約4時間後 (ACアダプター使用時)／約6分後 (電池使用時)、キャンセル可能
スピーカー	13cm×7cm (楕円形) ×2 (出力8W+8W)
消費電力	12V ≍ 10W
サイズ	幅132.2×奥行32.2×高さ9.9cm
質量	約10.9kg (乾電池含まず)

※1 1曲あたりの最大容量:約320キロバイト
※2 リズムあたりの最大容量:約64キロバイト (1キロバイト＝1024バイト)

- 改良のため、仕様およびデザインの一部を、予告なく変更することがあります。

■ ご使用上の注意

別紙の「安全上のご注意」と併せてお読みください。

■ 設置上のご注意

- 本機を次のような場所に設置しないでください。
 - 直射日光のあたる場所、温度の高い場所。
 - 極端に温度の低い場所。
 - ラジオや、テレビ、ビデオ、チューナーに近い場所(これらを近くに置いた場合、本機には特に障害はありませんが、近くに置いたラジオやテレビの側に雑音や映像の乱れが起ることがあります)。

カビを予防するために、風通しに配慮して設置場所の温度・湿度を保ってください。

- 推奨温度範囲:15 ～ 25 ℃
- 推奨湿度範囲:40 ～ 60%RH

■ 本機のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。ティッシュは傷がつきやすいのでご使用にならないでください。
- 汚れが気になる時は、薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し固く絞ってから軽く拭き取り、乾いた柔らかい布で軽く製品表面を拭いてください。
- 紫色、青紫、塗装はがれ、ひび割れ等の恐れがありますので、ベンジン・有機溶剤、アルコール等が含まれるクリーナー剤、塩素系漂白剤、アルコールタイプの除菌シート等のご使用にならないでください。

■ 除菌・消毒方法について

- ノンアルコールの除菌シートで2～3回拭き取りをした後、乾いた柔らかい布で軽く拭いて仕上げてください。
- 乾拭きをしないで放置すると痕が残りますので、ご注意ください。
- 複数の方が製品をご利用する場合は、ご利用前後に手を消毒していただくことをおすすめします。

■ 付属品・別売品

付属品や別売品は、本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

- **ウエルドライン**

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の「ウエルドライン」と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。



- 本機の電源端子に、金属片や鉛筆などを入れないようにご注意ください。これらが端子に入ると、事故の原因になります。
- 付属の電源コードは、本製品以外の電気機器には使用しないでください。
- ACアダプターは、使用する機器の近くにあるコンセントに差し込んで使用してください。不具合が生じたときには、コンセントから直ちに取り外せるようにしてください。
- ACアダプターは、屋内専用です。水滴のかかる場所には置かないでください。また、水の入った花瓶などをACアダプターの上にのせないでください。
- ACアダプターを、新聞紙やテーパークロス、カーテンなどで覆わないようにしてください。
- 本機を長い間使用しないときには、ACアダプターをコンセントから外してください。
- ACアダプターは、修理することができません。破損・故障時は、新品をお買い求めください。
- ACアダプターの使用環境:温度0～40℃

- 出力形式:

- JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高周波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

CE	Manufacturer: CASIO COMPUTER CO., LTD. 6-2, Hon-machi 1-chome, Shibuya-ku, Tokyo 151-8543, Japan Responsible within the European Union: Casio Europe GmbH Casio-Platz 1, 22848 Norderstedt, Germany www.casio-europe.com
UK CA	Manufacturer: CASIO COMPUTER CO., LTD. 6-2, Hon-machi 1-chome, Shibuya-ku, Tokyo 151-8543, Japan Responsible within the United Kingdom: Casio Electronics Co. Ltd. 10 Norwich Street, London, EC4A 1BD, U.K. www.casio.co.uk
本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。	

- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2